

【自分のリズムを知る方法】

① 自分の生まれた日時の月齢を「月齢カレンダー」から割り出します

<http://koyomi8.com/>

表中の月齢は、その地の標準時正午(12時)の月齢です。

例えば、1971年1月1日18時に生まれたとします。

1970年1月のカレンダーを見ると、月齢は3.7です。

そこから6時間後に生まれているので、月齢は3.95となります。

* 陣痛促進剤を使うなど病院の都合などで生まれている場合は、ずれが生じます。そのずれ量は、半年ぐらいやりながら見つけていくしかありません。

* 月齢の「数字」が記載されている「月齢カレンダー」があると便利です。

例えば、https://item.rakuten.co.jp/libroria/01cd_moon/

* 自分の月齢は、決して人に知られてはならないものなのでご注意ください。

なぜ知られてはならないのか？

空海が中国からもたらした、密教秘伝の宿曜学は、個々の人間の生まれ日の月齢によって、気質タイプや相手との宿縁性相性、日々の傾向などを解析できます。

人の生き死に、月の引力が関わっていることは判明しており、そこから編みだされたものなので、知られてはいけないということです。

② 今月の自分の月齢は何日か、「月齢カレンダー」で確認します。

上記3.95の例で確認すると、2021年1月17日になります。

その日が、自分にとっての月齢「0」になります(そこからがスタートです)。

③ 今月の、自分にとっての月齢0の日が分かったら、

その日から月齢15に向かって自分のリズムは上がっていきます

上記例で言うと、1/17が月齢0で、2/1の月齢15に向かって月が満ちていくとき、みなぎっていきます、色々うまくいきます。

でも、ある段階で、なんでこんなうまくいかないんだ～、となっているとき、ふっと月齢カレンダーを見ると、ピーク(月齢15)を越えています。

(月齢を山の形で示すと、15を頂点にして、月齢0～15が左側の上昇線、月齢15～30が右側の下降線となります。

このピークアウトする所、つまり上昇線から下降線に切り替わるところが運気の変わるところになりますので要注意日となります)。

ちまたでは、新月が0、満月が15で、満月の日が絶好調と言われます。

そうすると、皆、同じリズムとなってしまいます。真っ赤な嘘です。そんなわけはなく、各々生まれた日時が基準になるので、当然、一人一人リズムが異なるわけです。

その正しいリズムを知らないで生きると、あれ～なんかうまくいかないこと続きだな～となることがあるわけです。